

For Earth, For Life
Kubota

連結決算説明 2020年12月期第2四半期累計



(株)クボタ 取締役副社長執行役員 企画本部長
吉川 正人

2020年8月7日 (金)



2020年12月期第2四半期累計連結決算概要

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2020年12月期 2Q累計	2019年12月期 2Q累計	増減	
			金額	%
売上高	8,842	9,708	▲ 867	▲ 8.9
国内	2,902	3,101	▲ 199	▲ 6.4
海外	5,940	6,607	▲ 668	▲ 10.1
営業利益	9.2% 817	11.4% 1,109	▲ 293	▲ 26.4
税引前利益	9.5% 844	11.8% 1,146	▲ 302	▲ 26.4
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	6.7% 596	8.4% 812	▲ 216	▲ 26.6

(億円)	2020年12月期 2Q末	2019年12月期 期末	増減	
			金額	%
資産合計	31,279	31,393	▲ 114	▲ 0.4
親会社の所有者に 帰属する持分	14,415	14,428	▲ 13	▲ 0.1

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社クボタ 2

事業セグメント別売上高

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2020年12月期 2Q累計	2019年12月期 2Q累計	増減	
			金額	%
機械	7,190	8,008	▲ 818	▲ 10.2
国内	1,446	1,591	▲ 145	▲ 9.1
海外	5,744	6,417	▲ 673	▲ 10.5
水・環境	1,503	1,541	▲ 38	▲ 2.5
国内	1,309	1,353	▲ 44	▲ 3.3
海外	194	188	+ 6	+ 3.3
その他	148	159	▲ 10	▲ 6.4
国内	147	157	▲ 10	▲ 6.2
海外	2	2	▲ 0	▲ 21.6
売上高合計	8,842	9,708	▲ 867	▲ 8.9

国内売上高	2,902	3,101	▲ 199	▲ 6.4
海外売上高	5,940	6,607	▲ 668	▲ 10.1

為替の影響（▲180億円）を除くと、機械海外は▲8%の減。
海外売上全体は▲7%の減

*社内組織の変更に伴い、従来「機械部門」に含めていた「空調」を2020年12月期より「水・環境部門」に変更。
この変更に伴い2019年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社クボタ 3

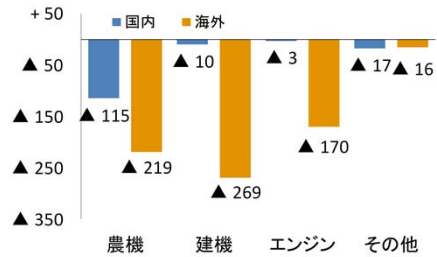
機械 ▲818億円（国内：▲145 海外：▲673）

※内、新型コロナウイルスの影響は▲600億円程度と試算
（工場の稼働停止などに伴う生産や出荷遅れの影響を含む）

国内 ・農機はトラクタ、作業機ともに減。
建機、エンジンも減

海外 ・トラクタは北米、欧州、タイで減
・作業機はタイ、中国、台湾等で増
・建機は北米、欧州、アジアで大幅減
・エンジンは中国での増によりアジアで増加するも、北米、欧州で大幅減

■機械売上増減の内訳（億円）



機械国内

- 農機は昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動減に加え、新型コロナウイルス感染拡大による販売活動の自粛などにより、トラクタ、作業機ともに減少して▲115億円（▲19%）の減。
- 建機は昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動減に加え、新型コロナウイルス感染拡大による建設工事の停滞などもあり▲10億円（▲6%）の減。
- エンジンは新型コロナウイルス感染拡大によるOEM先の在庫調整の影響などにより▲3億円（▲3%）の減。
- その他は農業関連商品などが減少し、▲17億円（▲2%）の減。

機械海外

- 農機のうち、トラクタは▲252億円（▲10%）の減。 作業機は+33億円（+10%）の増。

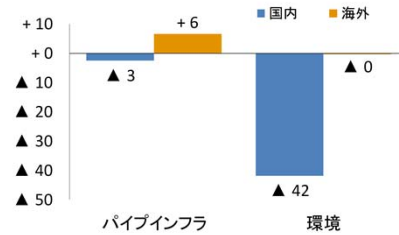
水・環境 ▲38億円（国内：▲44 海外：+6）

※内、新型コロナウイルスの影響は▲40億円程度と試算

国内 ・パイプインフラは鉄管や工事業業が増加するも、合成管、空調機器、鋼管が減。
・環境は双葉町での廃棄物処理施設の建設による売上などが減

海外 ・パイプインフラは素形材が増。
・環境はポンプや浄化槽が減少するも、膜システムが増加し前年並み

■水・環境売上増減の内訳（億円）



- 国内が▲44億円（▲3%）の減。
 - ✓ パイプインフラ関連では、ダクタイル鉄管などが増加するも、新型コロナウイルス感染拡大に伴う販売活動の制限や工事の遅れが民需を中心に影響し、合成管、空調機器、スパイラル鋼管などが減少。
- 海外が+6億円（+3%）の増。
 - パイプインフラ関連では、韓国向けの素形材が増加。

営業利益

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2020年12月期 2Q累計		2019年12月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	817	9.2	1,109	11.4	▲ 293	▲ 26.4

営業利益 (▲293億円) の増減要因

1.為替変動	米ドル(110円→108円 ※1) ユーロ(124円→119円 ※1) 他	▲35億円 ▲20億円 ▲25億円	} ▲80億円
2.為替差損益		+2億円	
3.原材料	機械(鋼材・関税・買入部品 他) 水・環境(スクラップ、レジン 他)	+30億円 +15億円	} +45億円
4.インセンティブ率変動	北米+18億円 他	+18億円	
5.増減販		▲225億円	
6.製品値上げ		+40億円	
7.その他		▲93億円	

※1: 但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル112円→109円、ユーロ127円→120円程度

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社クボタ 6

- インセンティブ率の変動 (+18億円)
 - ✓ 米国では厳しい競争が続いており、引き続き強いプログラムが維持されているものの、金利が大きく低下したことにより増益要因。
- その他 (▲93億円)
 - ✓ 昨年第4四半期の減産に伴い、当期に出荷した製品に含まれる生産工場の損益が悪化したことが▲87億円の減益要因となったことが主因。
 - ✓ 第2四半期に国内外の工場で一時的稼働を停止したが、その間の固定費を一時費用として処理した影響が▲24億円の減益要因。
 - ✓ それ以外には、人件費 (▲43億円)、販売費及び製造経費 (▲23億円) などの固定費が増加したものの、エンジンの空輸費用の減 (+21億円) や、カナダでの本社移転に伴う固定資産売却益 (+24億円)、その他の改善などで補った。

事業セグメント別営業利益

For Earth, For Life
Kubota

(億円)		2020年12月期 2Q累計	2019年12月期 2Q累計	増減
機械	売上高	7,190	8,008	▲ 818
	セグメント利益	871	1,162	▲ 291
	利益率	12.1%	14.5%	▲ 2.4P
水・環境	売上高	1,503	1,541	▲ 38
	セグメント利益	99	107	▲ 8
	利益率	6.6%	7.0%	▲ 0.4P
その他	売上高	148	159	▲ 10
	セグメント利益	15	16	▲ 1
	利益率	10.3%	10.2%	+0.1P
全社/消去	セグメント利益	▲ 169	▲ 177	+ 7
計	売上高	8,842	9,708	▲ 867
	営業利益	817	1,109	▲ 293
	利益率	9.2%	11.4%	▲ 2.2P

*社内組織の変更に伴い、従来「機械部門」に含めていた「空調」を2020年12月期より「水・環境部門」に変更。
この変更に伴い2019年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社クボタ 7

- 機械は、値上げ効果や原材料価格の低下などの増益要因はあったものの、国内外での大幅な減収や、当期に出荷した製品に含まれる生産工場の損益悪化などにより減益。
- 水・環境は、国内での減収やプラント建設コストの増加などにより減益。

税引前利益・四半期利益

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2020年12月期 2Q累計		2019年12月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
税引前利益	844	9.5	1,146	11.8	▲ 302	▲ 26.4
四半期利益	652	7.4	867	8.9	▲ 216	▲ 24.9

四半期利益の帰属

親会社の所有者	596	6.7	812	8.4	▲ 216	▲ 26.6
非支配持分	56	0.7	55	0.5	+ 0	+ 0.8

(円)		2020年12月期	2019年12月期	増減
1株当たり配当	(中間)	17 円	17 円	±0 円
	(期末)	(未定)	19 円	-
	(通期)	(未定)	36 円	-

<株主還元の基本方針>

配当性向：目標30% 総還元性向：30%超

- ・ 上限200億円(取得期間：2020年4月20日～12月14日)の自己株式取得枠を設定
- ・ 2020年7月31日までに約70億円の自己株式を取得

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社 Kubota 8

- 8月6日に自己株式立会外買付取引による約342万株（約55億円）の自己株式の買付けを実施。

財政状態計算書（資産）

For Earth, For Life
Kubota

（億円）	2020年12月期 2Q末	2019年12月期 期末	増減	為替を除く 増減
流動資産	17,284	17,189	+ 95	
現金及び現金同等物	2,507	1,997	+ 510	
営業債権	6,568	6,826	▲ 258	▲ 140
金融債権	3,083	2,939	+ 144	
棚卸資産	3,687	3,824	▲ 137	▲ 70
その他	1,439	1,603	▲ 163	
非流動資産	13,995	14,204	▲ 210	
金融債権	7,216	6,992	+ 223	
その他	6,779	7,212	▲ 433	
資産合計	31,279	31,393	▲ 114	
金融債権計	10,299	9,932	+ 367	+ 650

<ご参考> 海外子会社期末日レート

（円）

米ドル	108	110	▲ 2
ユーロ	121	123	▲ 2

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社クボタ 9

- 現金及び現金同等物は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う資金需要の増加に備えて資金調達を早めたことや、有価証券の売却などにより増加。
- 営業債権は為替の影響を除いた実質ベースで▲140億円の減、棚卸資産は実質ベースで▲70億円の減。
 - ✓ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う工場の一時的な稼働停止による生産の減少及び販売会社からディーラーへの出荷遅れなどにより、営業債権、棚卸資産ともに減少。
- 金融債権は流動・非流動あわせて実質ベースで+650億円の増。
 - ✓ 主に小売が好調な北米で増加。
 - ✓ 金融債権の回収については、ロックダウンを受けて一時的な返済猶予を実施したものの、足元では通常の状態に戻っており、良好な状態を維持。
- 非流動資産の「その他」の▲433億円減は有価証券を売却したことが主な要因。

財政状態計算書（負債）

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2020年12月期 2Q末	2019年12月期 期末	増減	為替を除く 増減
流動負債	9,356	10,017	▲ 662	
社債及び借入金	3,646	3,865	▲ 220	
営業債務	2,447	2,938	▲ 491	
その他	3,263	3,214	+ 49	
非流動負債	6,572	6,004	+ 568	
社債及び借入金	5,925	5,164	+ 761	
その他	646	839	▲ 193	
負債合計	15,927	16,021	▲ 94	
有利子負債	9,571	9,030	+ 541	+ 740
DEレシオ（ネット）	0.49	0.49	+ 0.00	
金融を除くDEレシオ（ネット）	▲ 0.19	▲ 0.14	▲ 0.05	

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社クボタ 10

- 有利子負債は流動・非流動あわせて実質ベースで+740億円の増。
 - ✓ 金融債権の増加に伴い北米で増加したほか、資金調達を早めたこともあり増加。

財政状態計算書（資本）

For Earth, For Life
Kubota

（億円）	2020年12月期 2Q末	2019年12月期 期末	増減
親会社の所有者に帰属する持分	14,415	14,428	▲ 13
非支配持分	937	944	▲ 7
資本合計	15,352	15,372	▲ 20
親会社所有者帰属持分比率	46.1%	46.0%	+0.1P

キャッシュ・フロー計算書

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2020年12月期 2Q累計	2019年12月期 2Q累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	495	509	▲ 14
金融債権の増加	▲ 635	▲ 341	▲ 294
その他	1,130	849	+ 280
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 304	▲ 646	+ 342
有形固定資産及び無形資産の取得	▲ 384	▲ 517	+ 133
その他	80	▲ 129	+ 209
財務活動によるキャッシュ・フロー	362	65	+ 297
為替レート変動の現金及び現金同等物に対する影響	▲ 43	▲ 11	▲ 32
現金及び現金同等物の純増減	510	▲ 84	+ 594
フリーキャッシュ・フロー	111	▲ 8	+ 119
フリーキャッシュ・フロー（金融債権の増減を除く）	745	332	+ 413

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社 Kubota 12

- 営業キャッシュフローの内訳は、利益と減価償却費で+983億円の収入、金融債権の増で▲635億円の支出、その他+147億円の収入。
 - ✓ 営業債権や棚卸資産の減少により運転資本の変動による支出は減少したものの、四半期利益の減少や金融債権の増加額の拡大により、前年比では▲14億円の収入減。

金融事業の状況 <ご参考（非監査）>

For Earth, For Life
Kubota

財政状態計算書

(億円)	2020年12月期 2Q末		2019年12月期	
	金融事業	金融事業を除く ベース	金融事業	金融事業を除く ベース
資産合計	12,161	19,518	11,812	20,482
現金及び現金同等物	205	2,301	198	1,798
営業債権	369	6,216	293	6,557
金融債権	10,299	-	9,932	-
棚卸資産	-	3,687	-	3,824
有形固定資産	4	3,926	5	4,049
その他	1,284	3,388	1,384	4,254
負債合計	10,262	5,890	9,965	6,786
有利子負債	9,631	-	9,380	-
その他	632	5,890	584	6,786
資本合計	1,898	13,628	1,847	13,697

損益計算書（金融事業）

(億円)	2020年12月期 2Q累計	2019年12月期 2Q累計	増減	
	金額	金額	金額	%
売上高	380	363	+ 17	+ 4.6
営業利益	39.8% 151	37.1% 135	+ 16	+ 12.2
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	23.9% 91	22.5% 82	+ 9	+ 11.4

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社クボタ 13

- 金融事業を除くベースでは、引き続き無借金の状態を維持。
- 金融事業の収益性も非常に高い水準を維持。

機械事業の動向

米国 ディーラーの営業停止は一部に留まり、トラクタ、建機ともに小売は好調。一方で、卸売は一昨年の出荷が昨年の上期にずれ込んだことの影響や、生産・出荷遅れもあり減

トラクタ小売

小型は主要地域で天候に恵まれたことや、外出規制に伴う巣ごもり特需もあり、増。中型はディーラーの要望が強かった新機種投入によるシェア拡大もあり、増。大型は市場は横ばいも、シェア拡大により増

建機小売

新型コロナウイルス感染拡大に伴う先行き不透明感により、レンタル業者は投資への慎重姿勢を継続。一方で当社が得意とする一般小売向けの需要は十分な工事量を背景に増加しているほか、当社のディーラーが所在する郊外地域は新型コロナウイルスの影響が比較的軽微であることも寄与し、MB、CTLが増。SSLは市場の縮小により減

ディーラー在庫

不透明な要素が多いなかで、ディーラー在庫を抑制するという意図はあるものの、春需要期の小売が想定を大幅に上回ったことや、工場の一時稼働停止による生産・出荷の遅れなどによりディーラー在庫は4.7か月（前期末比▲1.8か月、前年同期比▲1.3か月）まで低下。卸売のキャッチアップが徐々に進むことにより当期末には5.3か月（前期末比▲1.2か月）程度に回復する見込み

エンジン卸売

新型コロナウイルス感染拡大を受けたOEM先の生産停止等により減

<上期実績>

- 米国経済は新型コロナウイルスの感染の再拡大や、大統領選も控えていることから、景気の先行き不透明感が高まっており、株式市場も不安定な動きが継続。
- 当社の事業については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うディーラーの営業停止も一部に留まり、トラクタや建機の小売は極めて好調。

①トラクタ（小売）

- 市場環境
 - 個人向けが中心の小型（40馬力以下）市場は、前年比+13%の拡大、中型（40～120馬力）市場は、前年比+7%の拡大と堅調に推移。
 - 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、第1四半期には一時的に市場が縮小したものの、4月以降はその反動に加え、主要な地域で天候に恵まれたことや新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛を受けた巣ごもり特需などもあり、芝刈機やユーティリティ・ピークルも含めたコンシューマー向けの需要が大きく拡大。
 - 一方、中型（40～120馬力）の中でも、農業向けの比率が高い60～120馬力帯については、外食産業向けの農産物需要の減少などを受けた先行き不透明感により前年並み。
 - 120～160馬力の大型市場は、前期は回復基調にあったものの、60～120馬力帯と同様に農業市場の先行き不透明感により前年並み。
- 当社のトラクタの小売は、+9%の増加。
 - 小型市場では、厳しい競争環境が続いているものの、市場の拡大を受けて大幅に増加。
 - 中型はディーラーからの要望が強かった新機種投入によるシェアの拡大もあり、当社の小売は市場の伸びを上回って増加。
 - 大型もシェアの拡大により増加。
- 芝刈機やユーティリティ・ピークルもコンシューマー向けの需要拡大や芝刈機の新機種投入効果などにより好調に推移。

②建機（小売）

- 市場環境
 - 新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出規制により、一時的に建設工事が停滞したものの、経済活動の再開により徐々に通常のレベルに回復。
 - 市場ではレンタル業者が投資への慎重姿勢を崩しておらず、レンタル向けの減少が続いているものの、一般小売向けはコンストラクタが十分な工事量を維持していることなどを背景に増加しているため、ミニバックホー、コンパクトトラックローダの市場は前年並み。
 - 一方で、新型コロナウイルスの感染拡大による農業市場の不透明感により、農業市場でも使用されるスキッドステアローダの市場は大幅減。
- 小売は全体で+10%の増
 - 当社の小売は、スキッドステアローダが市場の縮小により減少したものの、ミニバックホーやコンパクトトラックローダについては、当社が得意とする一般小売向けの需要が拡大していることに加え、クボタのディーラーが所在する郊外地域は新型コロナウイルスの影響が比較的軽微であることや、昨年の新機種投入効果などもあってシェアが大きく伸長。

③トラクタ・建機（卸売）

- 当社の売上である卸売は、台風の影響などにより一部製品の出荷時期が2018年から2019年の第1四半期にずれ込んでいたことの影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響による工場の稼働停止などにより生産・出荷が遅れているため、トラクタ、建機ともに大幅減。

④ディーラー在庫

- 新型コロナウイルスの感染の再拡大や、大統領選、米中対立の激化など来年以降も不透明な要素が多いなかで、ディーラー在庫を抑えるという意図もあるが、春需要期の小売が想定を大幅に上回る好調な結果となったため、小売と卸売に非常に大きな差異が生じ、ディーラー在庫水準が4.7か月（前期末比▲2.2か月/▲1.8か月、前年同期比▲1.4か月/▲1.3か月）まで低下。
- 部品調達も含めて増産対応には時間も要するため、当期中に完全にキャッチアップすることはできないものの、小売と卸売の差異は下期以降徐々に縮小し、年末のディーラー在庫は5.3か月程度（6月末比+1.2万台増）まで回復する見込み。
- なお、前期末と比べると▲1.1万台（▲1.2か月）減の非常に低い水準であり、在庫のやり繰りは必要となるものの、小売への大きなマイナス影響は出ないものと想定。

⑤エンジン

- エンジンは新型コロナウイルスの感染拡大を受けたOEM先の生産停止や減産、オイル・ガス市況の悪化などを受け、大幅に減少。

<下期見通し>

- 引き続き不透明感強いものの、巣ごもり特需や良好な天候の継続などにより、小型トラクタや芝刈機の小売は好調に推移する見込み。
- 中型トラクタについても新機種効果により増加基調が続く見込み。
- 建機も、工事量が水準を維持しており、住宅市場も回復傾向にあることから現状の増加傾向が継続する見込み。
- エンジンについては、大手OEM先の減産などにより厳しい状況が続く見込み。
- 生産、出荷の遅れが完全にキャッチアップできないことや、エンジンの減などにより、年後半も北米の売上は前年を下回る見込み。

機械事業の動向（米国） – 補足データ

For Earth, For Life
Kubota

■ トラクタ市場小売台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月	
2019年	0-40馬力	+ 9.7%	+ 4.9%	+ 6.4%	▲ 0.1%	+ 6.4%	+ 5.0%
	40-120馬力	▲ 0.8%	▲ 0.2%	+ 7.2%	▲ 4.1%	▲ 0.4%	+ 0.5%
	120-160馬力	▲ 5.7%	+ 2.3%	+ 16.6%	▲ 0.4%	▲ 1.0%	+ 3.3%
2020年	0-40馬力	▲ 8.9%	+ 24.0%	-	-	+ 13.3%	-
	40-120馬力	▲ 5.1%	+ 13.9%	-	-	+ 6.5%	-
	120-160馬力	▲ 14.1%	+ 9.2%	-	-	▲ 0.1%	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ 0-8ピクホー市場小売台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2019年	+ 2.7%	+ 7.4%	+ 11.0%	+ 25.0%	+ 5.6%	+ 11.7%
2020年	+ 4.5%	▲ 4.4%	-	-	▲ 1.0%	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ コンパクトトラックローダ市場小売台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2019年	+ 4.6%	+ 6.4%	+ 9.9%	+ 9.2%	+ 5.7%	+ 7.7%
2020年	+ 2.2%	▲ 0.1%	-	-	+ 0.8%	-

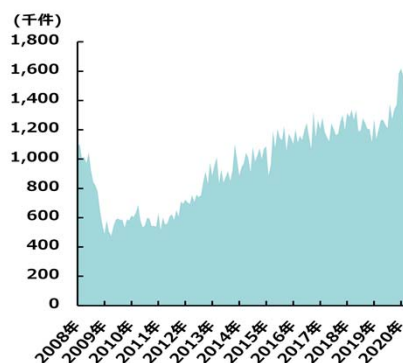
出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ スキッドステアローダ市場小売台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2019年	▲ 8.9%	▲ 9.1%	▲ 14.0%	▲ 1.2%	▲ 9.0%	▲ 7.4%
2020年	▲ 10.9%	▲ 23.6%	-	-	▲ 18.0%	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ 米国住宅着工件数（季節調整済・年率換算）



出典：米国国勢調査局（U.S. Census Bureau）

欧州 足元では経済活動の再開に伴い回復基調にあるが、多くのディーラーがロックダウンにより営業活動を停止したため、小売、卸売ともに大幅減

トラクタ小売

小型はロックダウンによるディーラーの営業停止などにより、春需要を取り込めず大幅減。
大型は新型コロナウイルス感染拡大に伴う外食産業の停滞を受け、農業市場の先行き不透明感が高まったことにより減

インプラメント卸売

大型トラクタ同様、農業市場の先行き不透明感などにより減

建機小売

経済活動の再開に伴い、市場は徐々に回復傾向にはあるものの、外出制限に伴う建設工事の停滞や、景気の先行き不透明感を受けたコントラクタの投資意欲減退により減

エンジン卸売

新型コロナウイルス感染拡大に伴うOEM先の生産停止や減産を受け、大幅減

<上期実績>

- 足元では経済活動の再開により回復基調にあるものの、新型コロナウイルスの感染拡大による各国でのロックダウンに伴い、第1四半期後半から第2四半期前半にかけて、多くのディーラーや販売会社の営業活動が制限されるなど厳しい事業環境となった。

①トラクタ

- 新型コロナウイルス感染拡大に伴うディーラーの営業停止や、外食産業の停滞による農業市場の先行き不透明感などにより前年を大きく下回る。

②インプラメント

- クバンランド社のインプラメントも減少。

③建機

- 建設工事の停滞や、コントラクタの投資意欲の減退などを受けて減少。

④エンジン

- OEM先の生産停止や減産の影響を受けて、大幅減。

<下期見通し>

- トラクタ市場は、経済活動の再開に伴い縮小ペースは穏やかになるものの、新型コロナウイルスの感染拡大による農業市場の先行き不透明感などにより、減少傾向が続く見込み。
- 建機市場についても、建設工事の再開による回復は緩やかなものに留まり、減少傾向が続く見込み。
- エンジンについては、OEM先の生産再開により徐々に回復に向かい、第4四半期には前年比で増加に転じる見込み。

タイ・
周辺国

雨季の降雨により足元では徐々に水不足が改善するも、年前半の水不足によりトラクタの小売は減。昨年末の小売低迷により増加したディーラー在庫の調整を実施したことにより、卸売は大幅減

トラクタ小売

稲作向けは、もち米やジャスミン米価格の高位安定を背景に増。畑作向けは、水不足による収量低下やシュガーケーン価格の下落などにより減少し、トラクタ全体では減。卸売を抑制し在庫調整を実施したことにより、タイ国内のディーラー在庫は前期末比▲1.1か月まで低下

コンバイン小売

米価の高位安定により大幅増

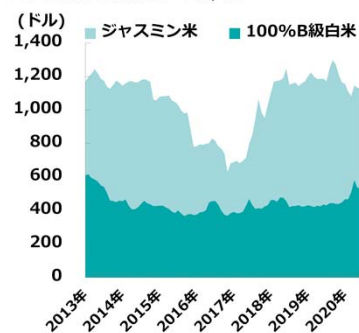
建機小売

新型コロナウイルス感染拡大による建設工事の停滞により減

周辺国小売

カンボジアは、キャッサバなどの畑作向け需要の拡大を背景に増。
ミャンマーは、販売低迷の原因であった米ドルに対する現地通貨安が徐々に緩和されてきたことや、金利の低下により増

■ タイ米輸出価格推移 ドル/トン



出典：米国農務省、タイ米輸出協会

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社クボタ 18

<上期実績>

① トラクタ (タイ国内)

- タイのトラクタ市場は、水不足の影響で年前半は低迷していたものの、雨季の降雨により水不足の状況が改善しつつあるため、足元では回復傾向。
- 小売は、天候面の不安が和らいだことに加え、ジャスミン米やもち米の価格が高位安定していることを受け、稲作向けが拡大。一方で、昨年来の水不足による収量低下やシュガーケーンの価格低下などにより、畑作向けが減少したため、トラクタ全体では▲9%の減少。
- 卸売は、水不足の影響により昨年第4四半期の小売が想定ほど進まず、年度末のディーラー在庫が増加していたことから、年前半にディーラー在庫の調整を行ったため、小売以上に減少し、売上は大幅減。

② コンバイン (タイ国内)

- 米価の高位安定を受けて大幅増。

③ 建機 (タイ国内)

- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響による建設工事の停滞や景気の先行き不透明感を受けて大幅減。

④ 周辺国

- カンボジアの小売は、キャッサバの価格が高位安定していることを受けてトラクタが増加したものの、水不足による二期作米の作付けエリア減少によりコントラクタの賃入り収入が減少したため、コンバインが減少。
- ミャンマーは、近年販売低迷の原因となっていた現地通貨のチャットに対する米ドル高の状況が徐々に解消されてきたことや、中央銀行の利下げによるローン金利の低下などを受け、トラクタの小売が増加。

<下期見通し>

- 雨季の降雨が順調であることや、集合農家グループ向けの補助金が設定されたことなどにより、小売は前年比で増加基調となり、年間では前年並みとなる見込み。
- 卸売については、すでにディーラー在庫は非常に低い水準まで低下したものの、下期の卸売も小売と同程度に抑え、低い在庫水準を維持することから、タイ国内の卸売は小売を上回る卸売となっていた前年比ではマイナスとなる見込み。
- カンボジアについては、キャッサバ向けの好調などによりトラクタは引き続き堅調に推移し、ミャンマーも引き続き市場の好調が続く見込み。
- これらの結果、タイ及び周辺3か国の売上は、下期は現地通貨ベースで増加するものの、低い在庫水準を維持するため、上期の減収を補うには至らず、通期では減収となる見込み。

機械事業の動向（アジア）

For Earth, For Life
Kubota

中国 中央政府農機購入補助金は未確定も前年並みから微減の見込み。
農機市場は第2四半期以降、新型コロナウイルス感染拡大に伴う低迷から徐々に回復。
建機、エンジンも4月以降需要が急回復するも、建機の競争は激化

トラクタ/小売	高馬力化の進展により、当社が参入している70-99馬力の市場は拡大しているものの、操業停止による供給遅れなどにより減
コンバイン/小売	汎用コンバインの市場は減少するも、馬力や処理量をアップした新製品投入効果により、当社の小売は前年並み
田植機/小売	操業停止による供給遅れの影響はあったものの、乗用田植機向けの追加補助金により乗用田植機は増
建機/小売	政府の景気刺激策や経済活動の再開により市場は拡大しているものの、主に5t機以上のローカルメーカーおよび外資メーカーの価格攻勢により減
エンジン/卸売	政府の景気刺激策により、建産機向けが好調

■ 中国 中央政府農機購入補助金推移

		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
補助金(億円)	第1次	-	110	130	200	170	210	228	186	186	180	未確定
	年間計	155	175	215	218	238	238	237	186	186	180	未確定

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社クボタ 19

<上期実績>

①農機

- 政府の農機購入補助金は一部の省で補助金が発表されておらず、総額は未確定であるものの、前年並みから微減程度となる見込み。
- 農機市場は新型コロナウイルスの感染拡大により、ディーラー及び販売会社の活動が制限された影響により第1四半期は大幅減となったものの、第2四半期以降は第1四半期の需要急減の反動もあり、市場は回復。
- 農機の小売は、トラクタが減少したものの、コンバインは前年並み、乗用田植機は増加。
- トラクタの減は、高馬力化の進展により当社が参入している70-99馬力の需要が増加した一方で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う製造拠点の稼働停止により、春需要期での生産及び出荷の遅れが発生したことが要因。
- 汎用コンバインは、新型コロナウイルス感染拡大による供給不足が継続しているものの、馬力や処理量をアップした新製品の投入効果により、前年並み。
- 田植機は、人の移動が制限され、人手の確保が困難なことから、機械化促進を狙った追加補助金を実施されていることにより、歩行田植機から乗用田植機への買い替えが進み、歩行田植機が減、乗用田植機が増。

②建機

- 建機市場は政府の景気刺激策などもあり、第2四半期以降の需要が急速に回復。
- 小売はローカルメーカーやそれに追随する一部の外資メーカーの価格攻勢により減。

③エンジン

- エンジンは、建産機市場の急回復を受け、大幅増。

<下期見通し>

- 農機市場は回復基調が継続する見込み。
- 当社は今年投入した汎用コンバインの新製品の拡販により、下期も増収を見込む。
- 建機は、下期については0-4t機を中心に増販を見込んでいるものの、上期の減を補い切れず、年間では前年を下回る見込み。
- エンジンは建産機向けを中心に引き続き好調を維持する見込み。

日本

農機は昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動減や、新型コロナウイルス感染拡大に伴う販売活動の自粛などにより減。建機・エンジンについても建産機需要の減少に伴い減

農機/小売

昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動減に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大規模な展示会などの販売活動を自粛したことや、外食産業向けの農産物需要の減少などにより需要が減少したため、トラクタ、コンバイン、田植機の3機種ともに減

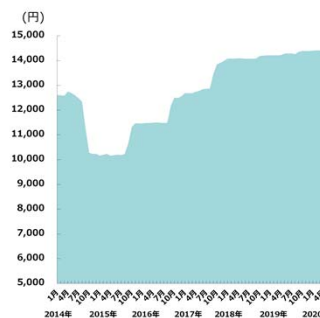
建機/小売

昨年の消費増税や優遇税制の締め切り前の駆け込み需要の反動減に加え、新型コロナウイルス感染拡大による建設工事の停滞などにより減

エンジン/卸売

新型コロナウイルス感染拡大に伴うOEM先の減産や、最終製品である建産機の需要減少などにより減

■日本米の生産者価格推移 円/60kg



出典：農林水産省「農産物価統計調査」

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社クボタ 20

<上期実績>

①農機

- 昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動減や、新型コロナウイルスの感染拡大による販売活動の自粛などにより、トラクタ、コンバイン、田植機ともに市場は縮小。
- 当社の小売は、トラクタ、コンバイン、田植機とも市場の落ち込みが大きく、減少。
- シェアについては、トラクタが新機種投入による昨年の増販の反動で微減となったものの、コンバイン、田植機については新機種投入効果などにより拡大。

②建機

- 新型コロナウイルス感染拡大による建設工事の停滞や、販売活動の制限などにより市場が縮小し、当社の小売も減少。

③エンジン

- 新型コロナウイルスの感染拡大によるOEM先の減産や最終製品市場でのレンタル業者の買い控えなどにより、販売は減少。

<下期見通し>

- 農機は展示会やイベント自粛の影響が継続し、前年比で減少傾向が続く見込み。当社は大規模な展示会の開催が制限される中でも、バーチャル展示会の開催などにより、更なるシェアの拡大を目指す。
- 建機は民間の設備投資抑制が継続することや、販売活動の自粛などにより、前年比で減少傾向が継続する見込み。
- エンジンは前半と比べ、更に減少幅が拡大する見込み。

業績予想

2020年12月期業績予想

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2020年12月期 (予想)	2019年12月期 (実績)	増減	
			金額	%
売上高	17,800	19,200	▲ 1,400	▲ 7.3
国内	5,855	6,254	▲ 399	▲ 6.4
海外	11,945	12,946	▲ 1,001	▲ 7.7
営業利益	8.4% 1,500	10.5% 2,017	▲ 517	▲ 25.6
税引前利益	8.7% 1,550	10.9% 2,090	▲ 540	▲ 25.8
親会社の所有者に帰属する 当期利益	6.2% 1,100	7.8% 1,491	▲ 391	▲ 26.2

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社クボタ 22

- 第1四半期の時点では、合理的な算定が困難であったことから業績予想をいったん未定としていたが、国内外で経済活動再開の動きが見えてきたことから、現時点で入手可能な情報ならびに第2四半期の業績動向などを踏まえ、当期の業績予想を公表

事業セグメント別売上高予想

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2020年12月期 (予想)	2019年12月期 (実績)	増減	
			金額	%
機械	14,300	15,583	▲ 1,283	▲ 8.2
国内	2,800	3,063	▲ 263	▲ 8.6
海外	11,500	12,520	▲ 1,020	▲ 8.1
水・環境	3,200	3,301	▲ 101	▲ 3.0
国内	2,760	2,878	▲ 118	▲ 4.1
海外	440	423	17	+ 4.1
その他	300	316	▲ 16	▲ 5.2
国内	295	312	▲ 17	▲ 5.6
海外	5	4	+ 1	+ 23.5
売上高合計	17,800	19,200	▲ 1,400	▲ 7.3

国内売上高	5,855	6,254	▲ 399	▲ 6.4
海外売上高	11,945	12,946	▲ 1,001	▲ 7.7

- ・為替の影響(▲280億円)を除くと、機械海外は▲6%の減。海外売上全体は▲6%の減
- ・新型コロナウイルスの影響は機械▲1,480億円、水・環境▲100億円程度と想定
(工場の稼働停止などに伴う生産や出荷遅れの影響を含む)

*社内組織の変更に伴い、従来「機械部門」に含めていた「空調」を2020年12月期より「水・環境部門」に変更。
この変更に伴い2019年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社クボタ 23

• 海外

- ✓ 地域別の売上は、P15~20に記載の各市場の想定に基づき、北米は現地通貨ベースで▲6%の減収、欧州は現地通貨ベースで▲15%の減収、アジアは現地通貨ベースで▲1%の減収、その他の地域は現地通貨ベースで+3%の増収を想定。
- ✓ アジアの内数として、タイ及び周辺3か国は現地通貨ベースで▲4%の減収、中国については現地通貨ベースで+8%の増収を想定。

営業利益予想

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2020年12月期 (予想)		2019年12月期 (実績)		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	1,500	8.4	2,017	10.5	▲ 517	▲ 25.6

営業利益（▲517億円）の増減要因

1.為替変動	米ドル(109円→107円 ※1) ユーロ(122円→120円 ※1) 他	▲55億円 ▲25億円 ▲40億円	▲120億円
2.為替差損益			▲16億円
3.原材料	機械(鋼材・関税・買入部品 他) 水・環境(スクラップ、レジン 他)	+30億円 +30億円	+60億円
4.インセンティブ率変動	北米+56億円 他		+36億円
5.増減販			▲370億円
6.製品値上げ			+60億円
7.その他			▲167億円

※1：但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル110円→108円、ユーロ124円→120円程度

【2020年12月期第2四半期決算説明会資料】 株式会社クボタ 24

- インセンティブ率の変動は金利低下による北米での改善により+36億円の増益要因。
- 製品値上げについては、北米での値上げ効果を中心に+60億円の増益要因。
- その他（▲167億円）
 - 昨年第4四半期の生産減に伴う工場の損益悪化が第1四半期に実現した影響▲87億円に加え、第2四半期の工場の稼働停止などに伴う生産量の大幅低下による工場の損益悪化が下期に▲90億円の減益要因となることが主因。
 - 前期に台風の影響などによる一時損失が発生していたことが+40億円の増益要因となる一方、当期も国内外の工場の稼働停止期間中の固定費を一時費用として処理したことが▲24億円の減益要因。
 - その他の要因としては、人件費の増が▲75億円程度の減益要因となる一方、販売経費及び工場固定経費はコストダウンにより+30億円、エンジンの空輸減により+25億円、カナダの固定資産売却益により+24億円などが増益要因となる見込み。

事業セグメント別営業利益予想

For Earth, For Life
Kubota

(億円)		2020年12月期 (予想)	2019年12月期 (実績)	増減
機械	売上高	14,300	15,583	▲ 1,283
	セグメント利益	1,540	2,031	▲ 491
	利益率	10.8%	13.0%	▲ 2.3P
水・環境	売上高	3,200	3,301	▲ 101
	セグメント利益	270	281	▲ 11
	利益率	8.4%	8.5%	▲ 0.1P
その他	売上高	300	316	▲ 16
	セグメント利益	30	36	▲ 6
	利益率	10.0%	11.4%	▲ 1.4P
全社/消去	セグメント利益	▲ 340	▲ 332	▲ 8
計	売上高	17,800	19,200	▲ 1,400
	営業利益	1,500	2,017	▲ 517
	利益率	8.4%	10.5%	▲ 2.1P

*社内組織の変更に伴い、従来「機械部門」に含めていた「空調」を2020年12月期より「水・環境部門」に変更。
この変更に伴い2019年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

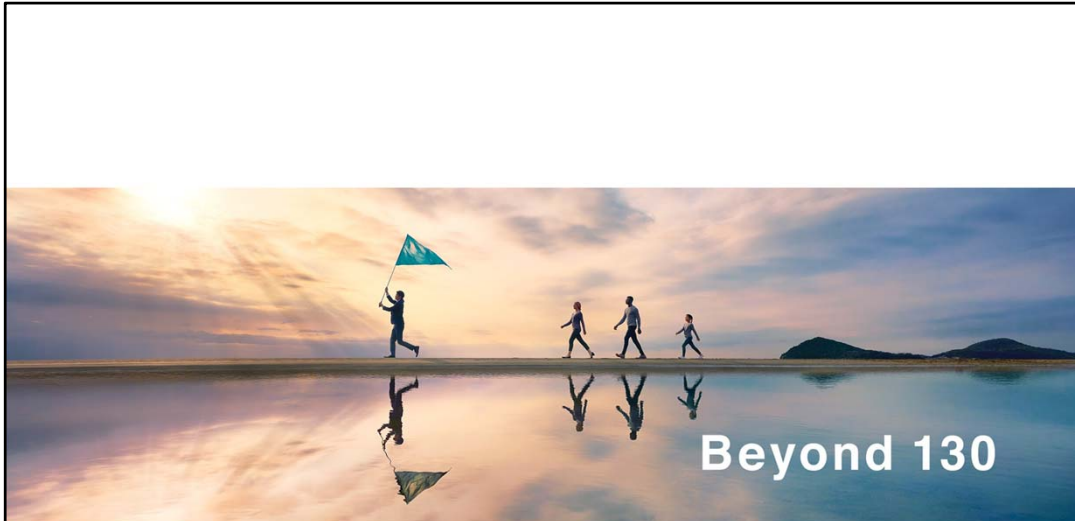
■ 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	2020年12月期		2019年12月期 (実績)
	(今回見直し)	(期初予想)	
設備投資*	850	1,150	867
減価償却費*	540	560	489
研究開発費	590	590	531

* : IFRS第16号「リース」の適用に伴う使用権資産の計上及び使用権資産に係る減価償却費は含まない

- 昨今の事業環境の変化を受け、設備投資、減価償却費を見直した結果、期初予想から減額となり、それぞれ850億円、540億円となる見込み。
- 研究開発費については590億円に変更なし。

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。



ご清聴ありがとうございました。

For Earth, For Life
Kubota